松下幸之助マップ



1.経営哲学と社会貢献

- 事業の創業
  - 
    1918年、松下電気器具製作所創業
  - 大阪市北区の借家にて
  - 1階が作業場、2階を住居
- 人間尊重の精神
  - 従業員との対話を重視 → 信念「ひとり一人が大切な人間」
  - 社員の自己実現を支援 → 職場内での教育プログラムの充実
- PHP研究所の設立（1946年）
  - 倫理教育の推進 → 「人間革命」の理念を広める
  - 出版活動を通じた社会教育
    

    月刊誌「PHP」の発行
- 
  松下政経塾の立ち上げ（1979年）
  - 政治家の育成 → 数多くの政治家を輩出
  - 社会のリーダーとなるべき人材の育成に注力

2.革新的な製品開発

- 初期製品
  - 電球ソケットの革新（1918年創業時）
    - 取り外し可能なソケットの開発
    - 電灯の普及に貢献
  - アタッチメントプラグ、二灯用差込みプラグ → 家庭用電気製品の利便性向上
- 「ナショナル」ブランドの成功
  - 

    自転車用電池ランプ（1927年発売）が大ヒット
  - ラジオ、洗濯機など家庭用電化製品の普及
- 技術革新の継続
  - 消費者ニーズの先読み → マーケットリサーチを基にした製品開発
  - 生活を豊かにする製品 → エコ技術など環境に優しい製品の開発に注力

3.経営手腕とグローバル戦略

- 海外視察と技術提携
  - 欧米への長期外遊（1951年） → 最新のテレビ技術を学ぶ
  - フィリップスとの技術提携（1952年） → TV製造の基盤を築く
- 事業の多角化
  - 日本ビクターの子会社化（1954年） → 音響事業への本格参入
  - 音響事業への本格参入 → 高品質なオーディオ製品の提供
- グローバル市場への展開
  - 技術交流と提携の積極化 → など
  - 国際競争力の強化 → 世界ブランドとしての地位確立